

かんきょう四季

令和5年度版

第39号 2024年4月



撮影者：YOSHIさん

相模原の環境をよくする会

ごあいさつ

相模原の環境をよくする会
会長 浅見 佳寿
(日本山村硝子株式会社)
東京工場



新緑の候、会員の皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本会の活動に対しましてご支援、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度は新型コロナウイルスが2類から5類へ移行し、新型コロナウイルス感染拡大前の状況にもどり始めた年になりました。それに伴い本会の活動も、5月のかんきょうフェアでは約1,500名、6月のさがみはら環境まつりでも約3,000名と多数の方々に来場して頂きました。加えて、4年ぶりに自然観察ウォッチングも開催でき、ほぼ新型コロナウイルス感染拡大前の活動が出来ました。関係者の皆さまのご協力あつての事です。感謝申し上げます。

国内を見てみますと、スポーツではワールド・ベースボール・クラシックで日本が14年ぶりの優勝、大谷翔平が米大リーグで本塁打王、藤井聡太が史上初の八冠を達成など明るいニュースが多く日本を盛り上げてくれましたが、政治家による政治資金規正法違反問題、ジャニーズ事務所の性加害問題、ビッグモーターによる保険金不正請求問題など、多数の不正や問題が発覚した年でもありました。また、海外に目を向けるとロシアによるウクライナ侵攻は終わりがみえず、パレスチナのハマスによるイスラエル攻撃からの軍事衝突も未だに停戦の目途は立っていません。さらに環境問題のニュースも多く、夏の平均気温が過去最高を記録し、秋には各地でクマによる被害が多発するなど、昨今の環境問題に対する活動はまったなしの状況となっております。

その様な中、「相模原の環境をよくする会」は今年40年目を迎えました。40周年を記念して来年度に式典や講演などのイベント実施を検討しています。節目の40周年のイベントを皆様と共に迎えられるよう、準備していきたいと考えておりますので、皆様のご協力のほどよろしくお願い致します。

また、時代に合わせて会則の見直しも検討しています。「相模原の環境をよくする会」は、前身の「相模原の河川をきれいにする会」と「相模原の青空を守る会」を含めると約50年の歴史が在ります。しかし50年の間に環境問題は地域の大気汚染・水質汚濁・自然環境破壊から地球全体の気候変動問題等に変遷しています。40周年を節目に会の目的等を時代に応じたものに変え、新しい「相模原の環境をよくする会」を作り上げて行きたいと考えておりますので、こちらも皆様のご協力をお願い致します。

最後に、5類にはなりましたがいまだに新型コロナウイルス感染情報を耳にしていますので、今年も感染防止を徹底しつつ各事業を実施して、皆さまの環境意識の向上に寄与していきたいと考えております。今後も変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

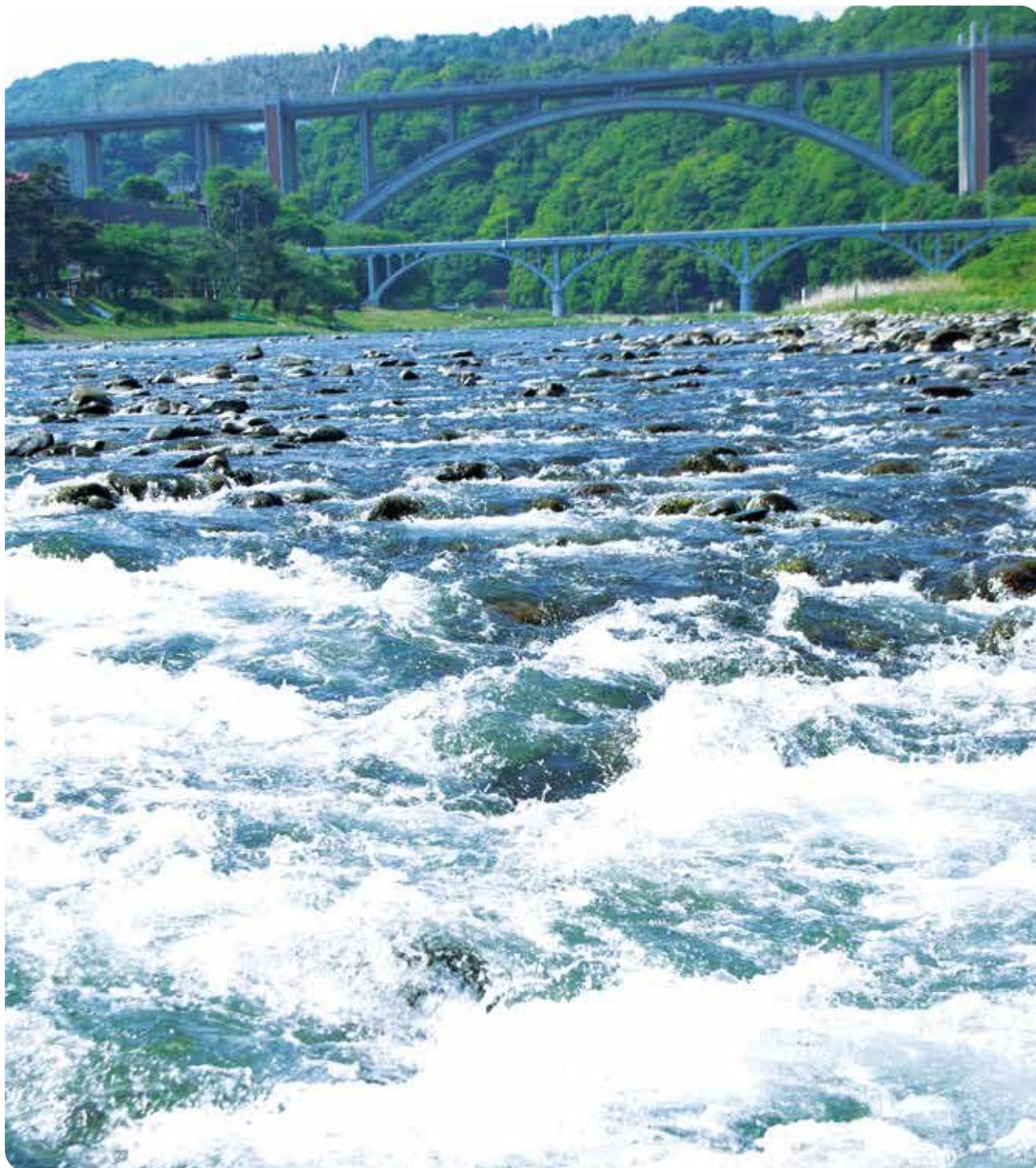
目 次

■ 相模原の環境をよくする会 活動概要	1
地球のために わたしたちが今、できること。	
■ 令和5年度活動報告	
全体活動	3
市民向け体験事業	5
調査事業	8
会員向け啓発事業	9
広報事業	10
その他の運営・活動記録	12
■ 調査結果報告	
河川生物相調査結果報告書	13
・名 簿	
・相模原の環境をよくする会会則	
・相模原の環境をよくする会細則	
・表彰に関する規定	
・入会申込書・退会届・変更届 様式	



地球のために わたしたちが 今、できること。

相模原の環境をよくする会は、相模原市内の工場・事業所など、100余りの企業・団体等が集まり、
公害の未然防止と、豊かな自然を守り、
快適な環境をつくるための活動を続けている団体です。



撮影：写真家 高橋ざいち氏

■ 事業活動に活かせる環境情報を提供しています

- 会員の要望に基づいたテーマでの環境セミナーや環境保全・公害防止について先進的な取組を進めている事業所の視察など、会員の事業活動に役立つ活動を行っています。

■ 市民のみなさまと共に相模原の環境を見つめ直しています

<主な啓発事業>

- 自然観察ウォッチング
- 夏休み環境教室
- 市民まつりにおける「かんきょうフェア」
- さがみはら環境まつりへの参加
- 各種キャンペーン

<調査・研究事業>

- 市内6河川8地点における河川生物相調査
- 先進事例等視察
- 環境セミナー

会ホームページをぜひご覧ください

<https://www.yokusurukai.jp/>

当会の活動を広く紹介し、タイムリーな情報をお知らせするホームページを運営しています。



令和5年度活動報告

全体活動

■ 令和5年度通常総会

令和5年4月26日(水)、エコパークさがみはらにて、相模原市の本村市長の御臨席のもと、令和5年度通常総会が開催されました。三菱電機(株)の渡部氏の司会進行のもと、三菱重工業(株)の金子氏による開会宣言、三菱電機(株)の小松会長の挨拶、来賓紹介へと続き、議事へ移行しました。

委任状を含めた、74会員の出席のもと、日本山村硝子(株)の中村氏が議長を務め、令和4年度の「事業報告」及び「収支決算報告」について日本板硝子(株)の平澤氏による監査報告が行われ、承認されました。

また、役員の変更については、役員会案が承認され、新会長となる日本山村硝子(株)の浅見氏から挨拶がありました。

最後に、令和5年度の「事業計画」及び「収支予算」が承認され、司会の渡部氏の挨拶のもと閉会しました。

開催日：令和5年4月26日(水) 会場：エコパークさがみはら 出席者：74会員(委任状込)

■ 第19回 さがみはら環境まつり

令和5年6月25日(日)、「第19回さがみはら環境まつり」が開催されました。当日は晴天に恵まれ、ボノ相模大野3階ユニコムプラザさがみはら他には、約3,000人の来場者がありました。催しとしては“森のイノベーションラボ FUJINO”、“木もれびの森の花と木々を守る会”、“相模原ごみ DE71大作戦”等各ブースでの展示やイベントがあり、ステージでは“まどか先生の楽しい実験ショー”、“クワガタ忍者ショー”、“さがぼーくんと地球温暖化〇×クイズにチャレンジ”などが実施されました。実行委員会の熱い思いも感じられ、会場は大盛況でした。



当会からは役員14名・事務局2名が参加し、会の活動紹介掲示、スタンプラリーおよびアイロンビーズ工作(東京ガス(株))を3階ブースで、電気自動車(日産自動車(株))展示を1階広場ブースで実施しました。アイロンビーズは、プラスチック製のガス配管を細かく砕いたペレットを型に入れ、アイロンで熱溶着して小物装飾品とするものです。数色のペレットがあったため仕上がりがカラフルになり、ブースが大変にぎわいました。

甘利明衆議院議員、本村賢太郎相模原市長も立ち寄り、プラスチックの再生利用の説明に耳を傾け感心しているようでした。

今回はアイロンビーズ工作のアイロン係で参加しましたが、自分を含めて当会参加者はほぼ飲食時間以外、ブースに家族連れで訪れる人(体感200人以上)の対応におわれていました。少し疲れましたが来場者の環境意識の高まりのあらわれであると感じ、また来てくれた子供たちの笑顔にふれたことで最終的に元気が出てきました。次回もこのような活動を通して環境意識を高められたら、と思いました。

カヤバ(株) 鈴木

開催日：令和5年6月25日(日) 会場：bono 相模大野、ユニコムプラザさがみはら、ボノ広場
来場者：約3,000人
参加役員：東京ガス(株)、(株)オハラ、カヤバ(株)、東京電力パワーグリッド(株)、日産自動車(株)、三菱電機(株)

■ かんきょうフェア2023

令和5年5月13日（土）・14日（日）「第50回相模原市民若葉まつり」が4年ぶりに開催されました。

当会では、「さがみはら地球温暖化対策協議会」等と共に、エコパークさがみはらを会場に「かんきょうフェア2023」を開催し2日間で当初の予想を上回る約1,500名にご来場いただきました。

当会より、10社34名の役員が参加しました。出展内容については、会員団体ブースでは、東京ガス(株)が、津久井産の間伐材を使ったコースター工作及び環境パネルの展示、(株)ニコン様が、顕微鏡生物観察、東京電力パワーグリッド(株)様が、尾瀬国立公園の取り組み紹介、日産自動車(株)様が、電気自動車の展示を行いました。

また、連携団体ブースでは、さがみはら地球温暖化対策協議会、エコパークさがみはら、市役所職員の方々による出展を実施しています。

出展団体ごとにクイズを出題するクイズラリーを行い、全てのブースで押印後、受付で景品をお渡しするというやり方を行ったので、ご参加いただいた市民の皆さまは、各ブースにて真剣に説明を聞いていただき、「環境に対しいろいろな取り組みがあり勉強になった」「子供たちにも良い体験ができた」等、大人も子供も改めて環境に対する意識が高められた良い機会になったと思われました。

東京ガス(株) 箱崎

実施日：令和5年5月13日（土）・14日（日） 場 所：エコパークさがみはら 来 場 者：約1,500人
参加役員：日本山村硝子(株)、(株)ニコン、(株)オハラ、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、SWCC (株)
日産自動車(株)、日本板硝子(株)、峡の原工業団地協同組合、三菱電機(株)



市民向け体験事業

■ 夏休み環境教室

令和5年7月29日（土）、青野原オートキャンプ場にて、市民26名（うち小学生12名）と役員・事務局等の総勢52名によって「夏休み環境教室」が開催されました。コロナの影響もあり4年ぶりの開催です。

猛暑日が連日続く中、当日も36度を記録する猛暑日となりました。

バスに揺られること約1時間、キャンプ場に到着すると既に家族連れ等多くの方が川遊びをしておりました。開会式を終え、早速マスのつかみ取りです。我先と網を持って子どもたちが漁場に入りますがマスも早い！中々捕まりませんでした。最初は取れたマスを人差し指でツツンしていた子も、瞬く間に両手で鷺掴みしていました。

次は水生生物の観察です。ナガレトビケラ等、綺麗な川で採れる川の生き物が沢山とれました。私自身、初めての経験でしたがジブリ映画に出てきそうな生物もあり、思わず見入ってしまいました。

汗もかいてお腹が空きました。お昼はアユの塩焼きです。頭から食べられるのか？まずはお腹から食べます。外はカリっ！中はフワリととても美味しく焼きあがっていました。どれも比較的大きな鮎でしたが、殆どの参加者が頭ごと完食していました。

午後は竹細工教室です。指導員の方々が熟練の手さばきでお手本を見せます。ナイフを使うのが初めてという、お子さんが多く親御さんも恐る恐る見守っています。「気を付けて」、「そうじゃない」という声があちらこちらで飛び交っていました。

指導員の方の補助もあり、立派な竹とんぼ・お箸・昆虫が次々と出来上がりました。丸一日、自然と触れ合った子ども達の笑顔はとても良い顔つきでした。我が家も同年代の子どもがおりますが、YouTubeでは見られない笑顔でした。遊ばされているより、自然を前に子どもながらに考えながら遊んでいるように見えました。経験し感じる事が子どもの成長にとってとても大切なことだということを感じさせられた一日でした。

また、川の生き物、竹の工作などを通じて、地球は我々人間だけのものではないことを改めて感じました。みなさまも是非、このような機会をとおして学び多い一日を過ごしてはいかがでしょうか。

東京電力パワーグリッド(株) 服部



実施日：令和5年7月29日（土）
講師：中道志川トラスト協会 他

会場：青野原オートキャンプ場 参加者：26人
参加役員：(株)ニコン、東京電力パワーグリッド(株)、SWCC (株)、日産自動車(株)

■ 自然観察ウォッチング「身近な植物の観察とプロに学ぶ写真教室」

令和5年10月21日（土）、市内横山公園にて自然観察ウォッチング「身近な植物の観察とプロに学ぶ写真教室」を開催しました。ようやく暑さもやわらぎ、秋めいた日差しに恵まれました。事務局2名、役員2名にて当日準備を行い、市民15名の参加のもと、相模原市在住の写真家の高橋ぎいち先生を講師にお招きし、前半座学、後半を写真撮影と講評の流れで進めていきました。

前半の座学では、デジタルカメラの基本的な撮影テクニックのポイントとなる、焦点距離や絞り、シャッタースピード、ISO感度などの関連性を解りやすく説明していただきました。

「写真はカメラに撮られては駄目、自分で作品を組立てそれに近づけるためにカメラを操作していく」ことが重要なのですが、そこが難しく感じました。ただし、デジタルカメラの良いところは撮影したその場で出来栄を確認することができ、再度カメラの設定を変えて撮影しなおすことで目標とする作品を作りこむことができます。そして、最後に自分の作品に自信をもつことが重要とのことでした。

40分程の座学の後、公園内の広場に出向き参加者の皆さんが自由に広場内を散策し撮影ポイントを探していきます。あまり特徴のある広場ではないものの、普段であれば見過ごしてしまうであろう自然の営みや、色づきはじめた木々、落ち葉や木の実など、被写体選びの過程で色々な気づきを得ることができました。

撮影時間終了後は再び会議室に戻り、参加者の皆さんが撮影した写真の講評をしていただきました。撮影した方が、どんな思いでカメラを向けたのか、その思いがうまく表現されているか、より見る側に感動を伝えるためにはピントの位置や絞りをこのように変えてみると良いかなど具体的なアドバイスもいただきました。また、参加者の皆さんが撮影された写真を通じて、様々な自然のとらえ方があるものだと感じました。様々な視点で自然について考える良い機会となりました。

三菱電機(株) 渡部



撮影者：響子さん

撮影者：保科幸村さん

実施日：令和5年10月21日（土） 会場：横山公園 参加者：15人 講師：高橋ぎいち氏
参加役員：(株)ニコン、三菱電機(株)

■ 自然観察ウォッチング「野鳥観察会」

令和6年2月23日（金）、市民を対象に自然環境への関心を深めるとともに環境保全に対する意識の向上を図ることを目的に自然観察ウォッチング「野鳥観察会」が開催されました。

参加者は40名で、市民24名、麻布大学野鳥研究部7名、相模原の環境をよくする会9名（役員6名、事務局3名）でした。

出発前に麻布大学野鳥研究部（やちょけん）の方々からバードウォッチング（今日みられるかもしれない鳥たち）の楽しみ方および双眼鏡の使い方を教わりました。

当日は雨でしたが、小雨であったため傘をさしながら4班に分かれ、野鳥観察がスタートしました。

“やちょけん”の方々から野鳥の名前、特徴や見つけ方のコツなどを丁寧に説明され、双眼鏡を覗き込む参加者は目を輝かせ飛び立つ野鳥をウォッチングされていました。鳴き声の説明もしていただいたので、姿が見られないときもこの鳥かな？と予想ができるようになったのも嬉しいです。

また、「相模原沈殿池」ではフィールドスコープを覗き水辺に飛来する野鳥を観察すると、羽を休める鳥や池を泳ぐ鮮やかな色合いの鳥を観ることができ、穏やかな風景に心が癒されました。

楽しかった「野鳥観察会」、その日どんな鳥を観察できたか確認する「鳥あわせ」では“やちょけん”の方々から解説を行い、見たかった鳥が観られてとても嬉しかったと参加された方々から笑顔がこぼれていたのが印象的でした。

私自身初めての参加だったので不安でしたが、親切に教えていただき、とても楽しめました。身近にたくさんの鳥がいるのだと驚き、自然の織り成す美しさも存分に体験することができました。なにより運動にもなるのが良いです。

ひとりでは鳥を見つけられない、名前がわからない、野鳥観察のいろいろな楽しみ方を知りたい・・・と思ったら、自然観察ウォッチング「野鳥観察会」に行ってみましょう。

参加された皆さま、“やちょけん”の皆さま、ありがとうございました。

日産自動車(株) 関



実施日：令和6年2月23日（金） 会場：県立相模原公園、相模原沈殿池 他 参加者：24人
講師：麻布大学野鳥研究部（昭和37年に創設し、半世紀以上続いている伝統のある部活）
参加役員：(株)ニコン、(株)オハラ、カヤバ(株)、日産自動車(株)、三菱電機(株)

調査事業

■ 河川生物相調査 5月

相模原の環境をよくする会では、相模原市内の河川に生息する生き物の種類と個体数からその河川の汚濁状況を評価する「河川生物相調査」を毎年実施しております。

今年度1回目は、令和5年5月26日（金）役員8名、事務局4名 計12名、対象河川は境川3地点、姥川、八瀬川、鳩川、相模川、道保川の計8地点を3班に分かれて調査しました。

私は今回初参加でしたが、同様に初参加者も多く、またコロナ禍で昨年から再開したこともあり経験者も少ない中、過去の調査結果や「だれにでもわかる水生生物による河川の水質判定の手引書」と“にらめっこ”をしながら、これは何？これに似てない？なんて言いながら初めて見る小さな生き物から知っている生き物まで、子供の頃を思い出すような感覚も味わいながら、しっかり勉強をさせていただきました。

調査の結果、対象河川8か所中7カ所はos「きれいな所」1カ所am「ややよごれた所」となりました。きれいな所には、サワガニ、プラナリア、ヤゴ、カゲロウなどが生息していました。ヨコエビや稚魚も多数生息しており、あらためて相模原市内の河川がきれいという事を実感でき、嬉しい気持ちになりました。この先も子供達のために、きれいな環境を守っていかねばならないと感じた1日でした。

(株)オハラ 小松



実施日：令和5年5月26日（金） 場所：市内6河川8地点
参加役員：(株)ニコン、(株)オハラ、東京電力パワーグリッド(株)、カヤバ(株)、東プレ(株)、日産自動車(株)

■ 河川生物相調査 10月

相模原の環境をよくする会は、相模原市内の河川の水質調査を行っています。その手段として、河川に生息する生物の種類や個体数から水質を評価しています。年に2回、このような調査を行い、今年度の1回目は5月に実施されました。そして、令和5年10月13日（金）に2回目の調査を実施しました。今回参加したのは役員6名と事務局4名の計10名です。調査地点は、境川の3地点のほか、姥川、八瀬川、鳩川、相模川、道保川の計8地点で、これらの地点を3班に分けて調査を進めました。

前日には小雨が降りましたが、当日は快晴で気温も20℃前後と、調査日和でした。河川水質の調査では、川底の石の下や水辺の植物に隠れる生物を網で採取し、どのような生物がいるのかを確認します。8地点中、1地点は増水や草の繁茂により調査できなかったものの、5地点ではきれいな水を示すカゲロウやヨコエビ、カワニナ、トビケラ、ヤゴなどが見られました。一方、残る2地点ではやや水質が劣ることを示すシジミやサカマキガイ、ヒルが見られました。それでも最も水質が劣る場所でもややよごれた水質という程度でした。

また、今回が初めての河川生物相調査の参加ということで、様々な生物との出会いに驚きました。特に、指標生物ではないですが、ホタルの幼虫も発見することができ、とても新鮮な体験となりました。

東プレ(株) 中島



実施日：令和5年10月13日（金） 場所：市内6河川8地点（1地点調査実施できず）
参加役員：(株)ニコン、カヤバ(株)、東プレ(株)、三菱電機(株)

会員向け啓発事業

■ 令和5年度 先進事例等視察

令和5年11月9日（木）に会員11名と事務局3名の合計14名で東京ガス扇島 LNG 基地（神奈川県横浜市鶴見区扇島4-1）を視察しました。

扇島 LNG 基地は神奈川県扇島に有り、首都圏の都市ガス需要に応えるため1998年に創業を開始した LNG 基地で、隣接する発電所（扇町パワーステーション）と共に首都圏の都市ガスと電力供給に貢献してきた施設です。

LNG（Liquefied Natural Gas）とは「液化天然ガス」のことで、メタンを主成分とした天然ガスを冷却し液体にしたものです。都市ガスの元になります。マイナス162℃まで冷却すると天然ガスの体積が600分の1まで減少し、大量貯蔵や輸送がしやすいエネルギーです。また、石油や石炭など、ほかの火力発電の燃料に比べてCO₂（二酸化炭素）やNO_x（窒素酸化物）などの発生量が少なく、さらにススをはじめとした微粒子の発生もほとんど無く環境にやさしいエネルギーとなっています。

上記のマイナス162℃の状態とススが出ない事は、現地での冷熱実験で体験できます。ゴムボールがLNGの液体によりハンマーで砕けてしまうほどに硬くなってしまふ事や、蝋燭の炎と比べてススが出ない事を見る事が出来ました。

扇島 LNG 基地の特色としては周囲を航行する船の妨げにならない様に、栈橋と基地との間に配管橋を設置しないシーバース形式の LNG 受入施設を設けています。その為、受入れた LNG を輸送するため地下にシールドトンネルを設置しています。シールドトンネルはマイナス162℃の LNG が流れる為、配管は熱収縮変異を吸収する様ループしています。

また、安全性や周囲環境との調和や敷地の有効活用の観点から完全埋没型の覆土式地下タンクを設置し構内緑化にも力を入れています。

他にも、漏れた時に直ぐにわかる様に無味無臭のガスにわざと臭いを付けたり、マイナス162℃の LNG を気体に戻すのに海水を使いまったく火を使わない事や、火力発電所の扇町パワーステーションの運転・監視を共同にする事で人員の省力化も図っている点等、あらゆる面で環境にやさしい取組をしている施設と感じました。

日本山村硝子(株) 中村



実施日：令和5年11月9日（木） 場所：東京ガス扇島 LNG 基地 参加者：会員8社11名

■ 令和5年度 環境セミナー

「カーボンニュートラルと地域企業の対応<事業環境の変化と取組の方向性>」

相模原市との共催により、2050年脱炭素社会の実現に向けた取組の促進を図るため、経済産業省より講師をむかえ、カーボンニュートラルに関する最新の国の施策等に関するセミナーを開催しました。

実施日：令和6年2月19日（月）
会場：エコパークさがみはら
相模原の環境をよくする会公式 YouTube チャンネル
参加者：現地会場14名、オンライン17名（最大同時接続数）
講師：経済産業省 関東経済産業局 資源エネルギー環境部
カーボンニュートラル推進課



広報事業

■ 会報「かんきょう四季」の発行

会報「かんきょう四季」は、会員、県内水質保全団体、県、市、その他多くの方々に、会の活動状況を広く知っていただくために毎年発行しています。令和5年4月発行の第38号では各事業の活動報告の他、過年度からの継続実施を行っている河川生物相調査報告等を掲載しています。



発行月：令和5年4月 発行部数：250部
配布先：会員・関係機関等

■ ホームページ

スマートフォンからも閲覧しやすいデザインで、当会の情報を発信しています。

会員や事務局がイベントや研修など他会員に情報提供できる、会員限定の情報交換掲示板もありますので、是非、ご活用ください。

「相模原の環境をよくする会 HP <https://www.yokusurukai.jp/>」



■ SNS (X (旧 Twitter)、YouTube) による発信

環境情報発信やイベント開催の手段として本会の X (旧 Twitter) の運用のほか、環境セミナー等の開催のため YouTube アカウントを開設しています。

当会の活動や会員の皆様の取組等の情報発信を行っていきますので、是非フォロー・チャンネル登録をお願いいたします。

X アカウント：@s_env_yokusuru

YouTube チャンネル：二次元コードよりアクセス



X (旧 Twitter)



YouTube

■『フォト投稿キャンペーン』

SNSのハッシュタグ『#相模原の環境をよくするフォト』を活用した写真投稿キャンペーンを通年で開催しました。写真教室に参加いただいた方をはじめ、多くの方に投稿いただきました。今後もハッシュタグ『#相模原の環境をよくするフォト』を活用して環境に関する写真を募集するとともに会の活動等を発信していきます。

応募作品（一部抜粋）



撮影者：めるこ さがみさん



撮影者：植田さん



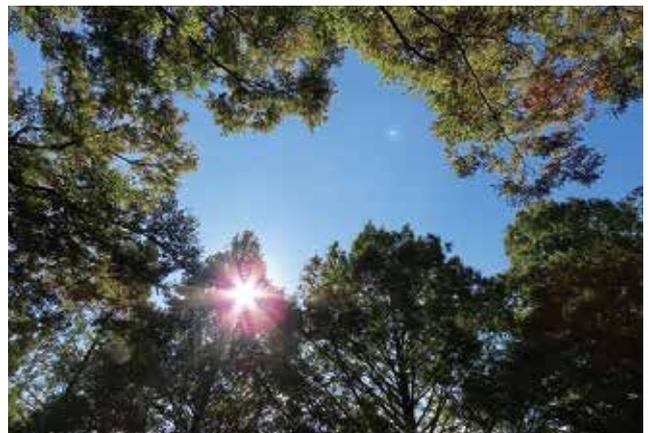
撮影者：CBMさん



撮影者：さりさん



撮影者：れんたろうさん



撮影者：亀崎誠さん

その他の運営・活動記録

役員会の開催

(1) 第1回役員会

開催日：令和5年4月14日（金）

- 議 題 ： 1. 令和5・6年度 役員（案）について
2. 令和4年度事業報告及び収支決算について
3. 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
4. 令和5年度総会について

(2) 第2回役員会

開催日：令和5年9月29日（金）

- 議 題 ： 1. 令和5年度上半期事業報告及び下半期事業予定について
2. 文書の廃棄について

(3) 第3回役員会

開催日：令和6年2月19日（月）

- 議 題 ： 1. 令和5年度事業報告について
2. 令和6年度事業計画（案）について
3. 令和6年度総会及び感謝状贈呈対象者について
4. 会則の見直し検討について
5. 40周年記念事業について



河川生物相調査結果報告書



1. はじめに

本調査は、当会の前身体である「河川をきれいにする協議会」の中から調査部員が募られ、昭和51年から開始したものである。当初、境川5地点で始まった本調査は、その後、調査員の交替、調査地点の変更等を経て、48年目を迎えた現在、市内6河川8地点で春と秋の年2回実施している。

令和4年度までは市内6河川9地点を調査していたが、安全性の観点から二国橋の調査を終了し、令和5年度より1地点の減となった。

令和5年度は、5月26日と10月13日に調査を実施した。以下、調査結果を報告する。

2. 生物相調査の実施

河川の水質調査の方法としては、BOD、CODなどの理化学的調査の他に、汚濁の進行に応じて水生生物の生息範囲が限られてくることを利用した生物学的な水質調査がある。

この方法は、比較的簡易な方法であること、市民の方々にも親しみが持ちやすい等の利点があり、本会としても河川浄化啓発活動の一環として取り入れてきた。

3. 調査河川と調査結果



境川水系

調査地点	①大戸橋		②上中村橋		③鶴金橋	
	5/26	10/13	5/26	10/13	5/26	10/13
気温 ℃	23	18	21	23.5	22.3	20
水温 ℃	16	17	21	22	9	19
pH 試験紙	7.0	6.0	9.0	6.0	6.0	7.0
にごり	なし	なし	なし	なし	なし	なし
臭気	なし	なし	なし	なし	なし	なし
水深 cm	12	10	35	33	12～13	20
川幅 m	2	2.2	4	2.5	6	6
河床	小石と砂	小石と砂	小石と砂	小石と砂	こぶし大の石	こぶし大の石
流速 sec/5m	14.68	25	13.23	7	28	17.11

大戸橋（境川）

大戸橋は、南高尾山稜の東側の草戸山を源流とする境川の最上流に位置しており、周囲を森林に囲まれた河床がきれいな小川にかかる小さな橋である。

5月の調査では、水質階級はOS（きれいな所）を維持、優占種はカゲロウであった。昨年5月に確認されたプラナリア・カワニナ・ヘイトンボ・トビケラは今回確認されなかったが、前回見られなかったカワゲラ・ブユの確認ができた。その他としては稚魚を確認した。

10月の調査では、水質階級はOS（きれいな所）を維持、優占種はカゲロウであった。

昨年10月に確認されたサワガニ・トビケラは今回確認されなかったが、前回見られなかったヨコエビ・カワゲラ・ブユが確認できた。その他としてはアメンボ・コオニヤンマ・水鳥が見られた。

今年度の水質階級の判定は、前年と変わらずOS（きれいな所）が維持されているという結果となった。

上中村橋（境川）

上中村橋は、相模原と町田の境界で米軍相模総合補給廠の北側に位置している。近くには宮下工業団地があり、生活および産業排水が流入しやすいところである。

5月の調査では、水質階級はOS（きれいな所）を維持、優占種はカゲロウであった。また、前回見られなかったカゲロウ・ヨコエビ・ブユが確認できた。

10月の調査では、水質階級はOS（きれいな所）を維持、優占種はヨコエビであった。

令和2年10月に確認されたアメリカザリガニ・ガガンボは今回確認されなかったが、前回見られなかったヨコエビ・ブユが確認できた。（令和3、4年10月は水量が多く危険だったため調査中止）

今年度の水質階級の判定は、前年と変わらずOS（きれいな所）が維持されているという結果となった。

鶴金橋（境川）

境川は東京都と神奈川県の間境の流れる河川であり、橋周囲は住宅街に面している。

5月度調査の水質階級は前年5月度より2段階悪化し、「a m」（やや汚れ）であった。

優占種はカゲロウで、ホシチョウバエ、シジミ、ヒル、ヤゴの5種の指標生物が確認された。前年5月度に確認されたプラナリア、赤ユスリカは見られなかった。

その他の生物としては、多数のアメンボとカワエビを確認した。

10月度調査の水質階級は同年5月度同様の「a m」（やや汚れ）であった。

優占種はヤゴで、サカマキガイ、ヒル、カゲロウの4種の指標生物が確認された。

同時期での直近調査となる令和2年10月に確認されたトビケラは見られなかった。(令和3、4年の10月度は調査なし) その他の生物としては、小魚とカワエビが確認できた。

この地点では平成21年以降水質改善が大きく進み、概ね「OS」(きれい)を維持し、時折「β m」(ややきれい)となる状態が続いていたが、今年の調査では2回連続でα m(ややよごれ)まで悪化していることが確認できた。これは平成5年から15年あたりの水準まで後退していることになる。

相模川水系

調査地点	①無量光寺下		②八幡橋		③天応院下		④泉橋上流		⑤昭和橋	
	5/26	10/13	5/26	10/14	5/26	10/13	5/26	10/13	5/26	10/13
気温℃	22	20.5	25	21	26	増水、草の繁茂により調査できず	23.5	21	26	21
水温℃	17	18.5	21	18.5	18.5		9	18.5	18	20
pH試験紙	7.0	6.0	7.0	7.0	7.0		6.0	7.0	7.0	7.0
にごり	なし	なし	なし	なし	なし		なし	なし	ややにごりあり	なし
臭気	なし	なし	なし	なし	なし		なし	なし	なし	なし
水深cm	20	30	75	20	20		20	33	20	30
川幅m	2	2	4	6	8		1.2～1.3	1.2～1.5	20	20
河床	こぶし大の石・小石と砂	こぶし大の石	頭大の石	頭大の石	頭大の石・こぶし大の石		頭大の石	頭大の石	頭大の石・こぶし大の石	頭大の石・こぶし大の石
流速sec/5m	6.9	14	89	6.7	14.7		16	14.96	16.1	26

無量光寺下 (八瀬川)

八瀬川は相模原市を流れる延長約5kmの中小河川であり、上田名付近の田名堀之内にある「大杉の池」に源を発し、陽原段丘を西から東に流れ、麻溝地区の「三段の滝」上流で一級河川相模川と合流する。調査地点は、八瀬川の下流に位置し、近年開通した圏央道の相模原愛川ICの近くでもあるが自然環境が比較的保たれている場所である。河川状況は、川幅2.5mほどの小川であり河床は小石や砂利で兩岸は土となっている。

5月の調査では優占種はカゲロウであり、その他カワニナ・アセラス・サワガニ・ヤゴ・ガガンボの計6種類の指標生物が確認された。指標生物以外では魚、アメンボが確認された。

10月の調査では優占種はカワニナであり、サワガニも多かった、その他アセラス・カゲロウ・ヤゴの計5種類の指標生物が確認された。指標生物以外ではカワエビが確認された。

水質階級は5月と10月共にOSであることから良好な環境が維持されているといえる。

八幡橋 (鳩川)

鳩川は内出橋下流端に源を発し、上九沢・上溝地区等を経て下溝地区で姥川・道保川と合流し、また中流の磯部付近で鳩川分水路・鳩川隧道分水路によって上流域の水を相模川へ放流している。調査地点は鳩川の中流域の上溝地区に位置し、周辺は住宅地になっている場所である。河川状況は兩岸コンクリートブロックに覆われているが、河床は砂利や小石になっており一部自然河川に近い状況である。

5月の調査では優占種はヨコエビであり、その他プラナリア・カゲロウ・ヤゴの計4種類の指標生物が確認された。指標生物以外では稚魚が確認された。

10月の調査では、優占種はトビケラで、その他カワニナ・アセラス・サワガニ・カゲロウ・ヤゴの計6種類の指標生物が確認された。指標生物以外ではカワエビが多数確認された。

水質階級は5月と10月共にOSであることから、良好な環境が維持されているといえる。

天応院下 (姥川)

姥川は相模原市緑区下九沢から中央区上溝にかけてのハケと呼ばれる段丘崖の湧水に源を發し横山丘陵の山際を流れ、下溝地内の天応院付近で鳩川と合流する延長約6.5kmの河川である。調査地点の河川状況は護岸及び河床はコンクリートであるが一部、頭大の石や小石・砂も入り交じっている自然河川に近い状況となっている。

5月度調査の水質階級は昨年同時期と同じ「OS」（きれい）となった。

優占種はカゲロウで、トビケラ、プラナリア、アセラス、ヤゴの5種の指標生物が確認された。

前年5月に確認されたヒラタドロムシは見られなかった。

その他の生物として、カワエビ多数と小魚数匹を確認した。

10月度は増水と草木の繁茂により、調査を実施することができなかった

この地点では、平成21年から28年頃にかけて概ね「OS」（きれい）の状態を維持した時期もあったが、近年は「OS」（きれい）と「β m」（ややきれい）の間を行き来している。

泉橋上流（道保川）

道保川は湧水を水源とし河川周辺は公園などに整備され、道保川公園は環境省の「残したい日本の音風景100選」にも選ばれている自然豊かな環境に位置している。

5月度調査の水質階級は近年同様「OS」（きれい）を維持した。

優占種はカゲロウで、カワニナ、ヤゴ、トビケラ、赤ユスリカの5種の指標生物が確認された。前年5月に確認されたヒラタドロムシは見られなかった。

その他の生物としては、アメンボ多数とエビ、小魚を確認した。

10月度調査の水質階級は近年同様「OS」（きれい）を維持した。

優占種はヤゴで、カワニナ、プラナリア、イトミミズ、カゲロウの5種の指標生物が確認された。

昨年10月に確認されたシジミ・ヨコエビ・サワガニ・カワゲラは見られなかった。

その他の生物としては、ホタル・ミズムシ・カワエビ・小魚などが確認できた。

この地点では平成23年以降概ね「OS」（きれい）が維持できているため、多数のカワニナが生息しており、これを捕食するホタルの幼虫も確認できているので、非常に良好な状態にあると思われる。

昭和橋（相模川）

相模川は富士山麓・山中湖や忍野八海に源を發し、富士山北麓の水を集めながら山梨県大月市で笹子川と合流し、相模湖と津久井湖の二つのダム湖を経て相模原市域を流れて相模湾に注ぐ全長109kmの一級河川である。水道水・農業用水として用いられているほか、河川敷は市民や他から訪れる人達の憩いの場として利用され、潤水都市さがみはらの母なる川として親しまれている。調査地点は、昭和橋下流の広大な本川のやや浅瀬にあり、頭大の石や小石、砂が混在する場所である。

5月の調査では優占種はカゲロウであり、その他プラナリア・ヤゴ・ガガンボの計4種類の指標生物が確認された。指標生物以外では魚、カワエビが確認された。

10月の調査では優占種はシジミであり、その他ヨコエビ・カゲロウの計3種類の指標生物が確認された。指標生物以外ではカワエビが確認された。

水質階級は5月の結果ではOSであったが10月の結果はβ mとなり前回やや悪化の傾向もみられたが、大雨による河川増水によりカゲロウなどの生き物が流されて個体数が減少した影響とも考えられるので今後の推移を見守る必要がある。

令和5年度 河川生物相調査結果一覧表 - 境川水系 -

門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					境川							
					os	βm	am	βp	αo	大戸橋		上中村橋		鶴金橋			
					5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月					
扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	ブラナリア科	ブラナリア	■												
軟体動物門	腹足綱	中腹足目	タニシ科	タニシ	■												
		基眼目	カワニナ科	カワニナ	■												
			モノアラガイ科	モノアラガイ	■												
			サカマキガイ科	サカマキガイ	■												
			カワコザラガイ科	カワコザラガイ	■												
	二枚貝綱	異齒目	ヤマトシジミガイ科	シジミ	■												
環形動物門	鬚毛綱	原始鬚毛目	イトミミズ科	イトミミズ	■												
	ヒル綱	ヒル目	ヒル		■												
節足動物門	甲殻綱	等脚目	ミズムシ科	アセラス	■												
		端脚目	ヨコエビ科	ヨコエビ	■												
		十脚目	ザリガニ科	アメリカザリガニ	■												
			サワガニ科	サワガニ	■												
	昆虫綱	蛭蟻目	カゲロウ		■												
		蜻蛉目	ヤゴ		■												
		覆翅目	カワゲラ		■												
		半翅目	タイコウチ科	タイコウチ	■												
		脈翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	■												
		毛翅目	トビケラ		■												
		双翅目	アミカ科	アミカ	■												
			ガガンボ科	ガガンボ	■												
			チョウバエ科	ホシチョウバエ	■												
			ブユ科	ブユ	■												
			ユスリカ科	赤ユスリカ	■												
			シギアブ科	シギアブ	■												
		襖翅目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	■												
			ミズスマシ科	ミズスマシ	■												
			ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	■												
					月別採取生物種数	3	6	4	3	5	4						
					地点別採取生物種数	9	OS	OS	OS	OS	am	am					
					判	定	OS	OS	OS	OS	am	am					

水質階級: OS きれいな所 βm ややきれいな所 am ややよごれた所 ■ : その生物がすむことのできる範囲を示す
βp よごれた所 αp たいへんよごれた所 個体数 — わずか(5以下) ++ 中位(6~15) +++ 多い(16以上)

令和5年度 河川生物相調査結果一覧表 - 相模川水系 -

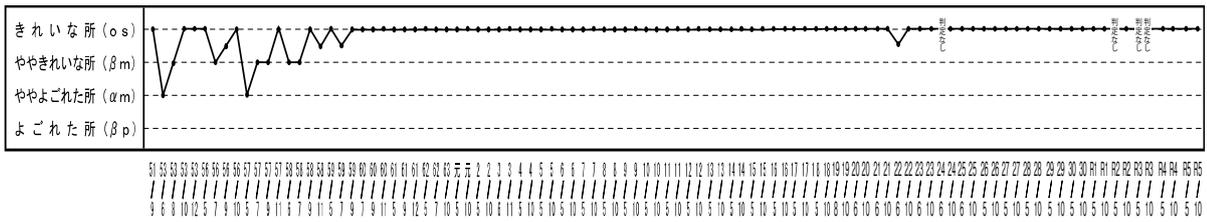
門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					八瀬川		鳩川		総川		道保川		相模川			
					os	βm	am	βp	αo	無蓋光亭下		八幡橋		天応院下		泉種上流		昭和橋			
					5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月			
扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	ブラナリア科	ブラナリア	■																
軟体動物門	腹足綱	中腹足目	タニシ科	タニシ	■																
		基眼目	カワニナ科	カワニナ	■																
			モノアラガイ科	モノアラガイ	■																
			サカマキガイ科	サカマキガイ	■																
			カワコザラガイ科	カワコザラガイ	■																
	二枚貝綱	異齒目	ヤマトシジミガイ科	シジミ	■																
環形動物門	鬚毛綱	原始鬚毛目	イトミミズ科	イトミミズ	■																
	ヒル綱	ヒル目	ヒル		■																
節足動物門	甲殻綱	等脚目	ミズムシ科	アセラス	■																
		端脚目	ヨコエビ科	ヨコエビ	■																
		十脚目	ザリガニ科	アメリカザリガニ	■																
			サワガニ科	サワガニ	■																
	昆虫綱	蛭蟻目	カゲロウ		■																
		蜻蛉目	ヤゴ		■																
		覆翅目	カワゲラ		■																
		半翅目	タイコウチ科	タイコウチ	■																
		脈翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	■																
		毛翅目	トビケラ		■																
		双翅目	アミカ科	アミカ	■																
			ガガンボ科	ガガンボ	■																
			チョウバエ科	ホシチョウバエ	■																
			ブユ科	ブユ	■																
			ユスリカ科	赤ユスリカ	■																
			シギアブ科	シギアブ	■																
		襖翅目	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	■																
			ミズスマシ科	ミズスマシ	■																
			ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	■																
					月別採取生物種数	6	5	4	6	5	—	5	5	4	3						
					地点別採取生物種数	11	OS	OS	OS	OS	OS	—	OS	OS	OS	βm					
					判	定	OS	OS	OS	OS	OS	—	OS	OS	OS	βm					

水質階級: OS きれいな所 βm ややきれいな所 am ややよごれた所 ■ : その生物がすむことのできる範囲を示す
βp よごれた所 αp たいへんよごれた所 個体数 — わずか(5以下) ++ 中位(6~15) +++ 多い(16以上)

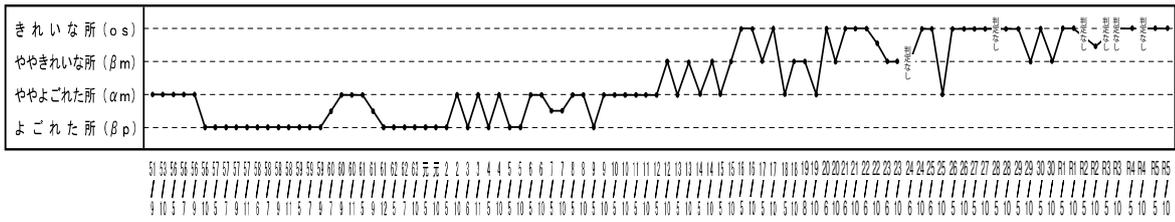
増水、草繁茂により調査できず

河川生物相調査水質判定経年変化

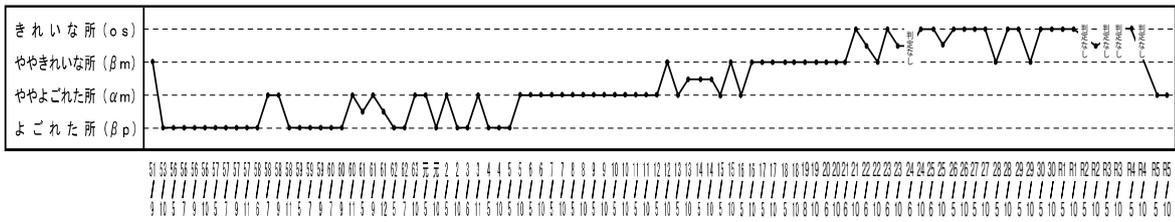
大戸橋（境川）



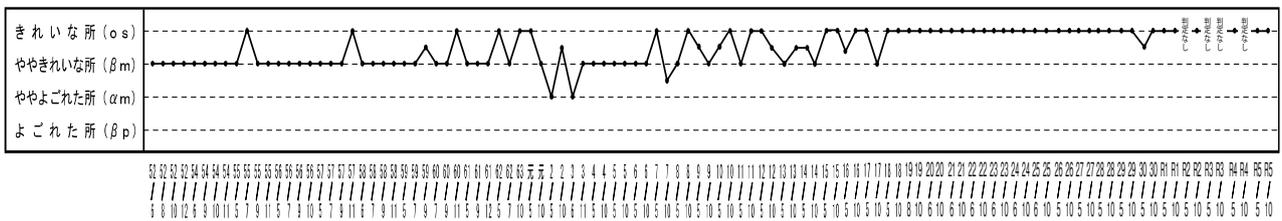
上中村橋（境川）



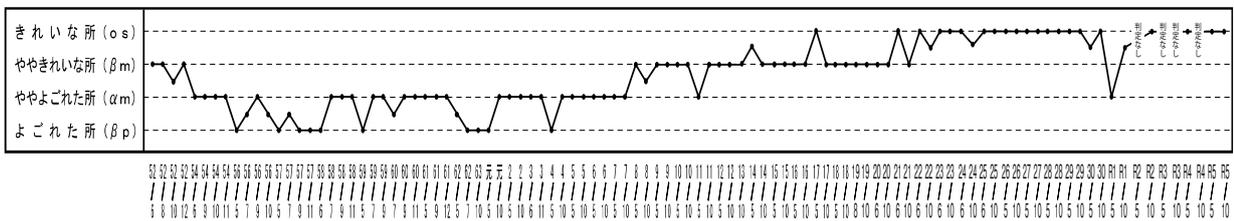
鶴金橋（境川）



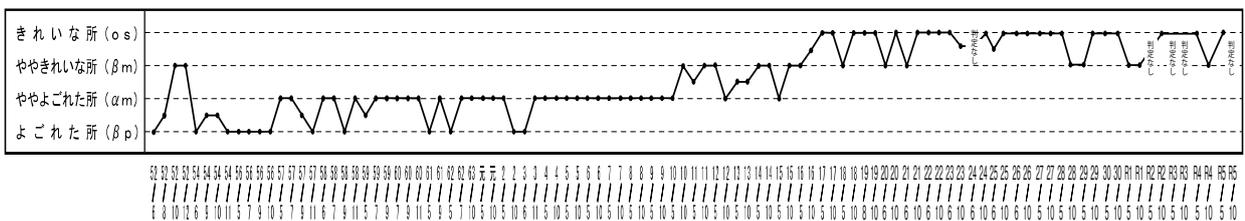
無量光寺下（八瀬川）



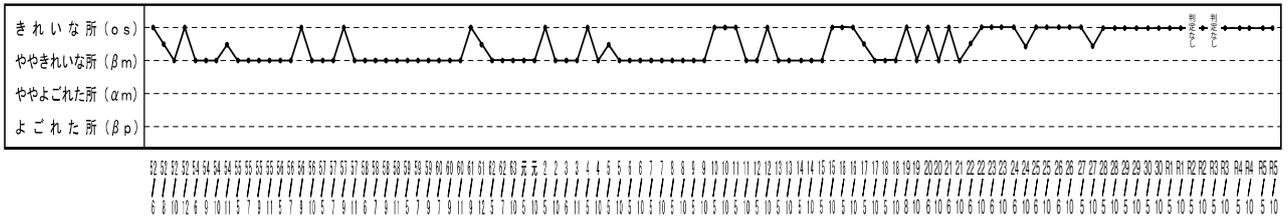
八幡橋（鳩川）



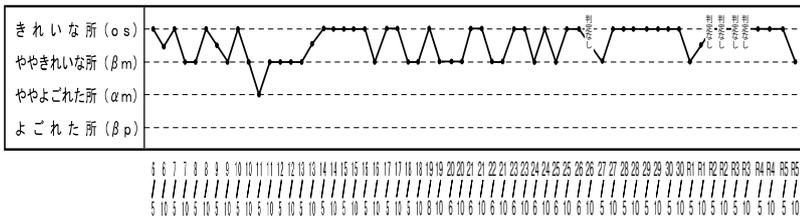
天応院下（姥川）



泉橋上流(道保川)



昭和橋 (相模川)



役員名簿

令和6年4月現在

役職	会社名	代表者氏名	所在地
会長	日本山村硝子(株) 東京工場	浅見佳寿	緑区大山町3-45
副会長	三菱重工業(株) 相模原製作所	竹内昌夫	中央区田名3000
理事	(株)ニコン 相模原製作所	若林孝	南区麻溝台1-10-1
理事	アイダエンジニアリング(株)	鈴木利彦	緑区大山町2-10
理事	(株)オハラ	齋藤弘和	中央区小山1-15-30
理事	東京ガス(株) 神奈川西支店	香川健	南区相模大野5-8-18
理事	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	荒川雅昭	中央区千代田6-12-25
理事	カヤバ(株) 相模工場	井関俊道	南区麻溝台1-12-1
理事	大和製罐(株) 東京工場	松岡進	緑区西橋本5-5-1
理事	(一財)生物科学安全研究所	山本実	緑区橋本台3-7-11
理事	プライムデリカ(株)	齊藤正義	南区麻溝台1-7-1
理事	東急建設(株) 技術研究所	井上論	中央区田名3062-1
理事	三友プラントサービス(株)	小松源	緑区橋本台1-8-21
理事	SWCC 株式会社 相模原事業所	野口一朗	中央区南橋本4-1-1
理事	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河合貴之	中央区南橋本3-8-8
理事	東プレ(株) 相模原事業所	大崎正夫	中央区南橋本3-2-25
理事	日産自動車(株) 相模原部品センター	瓜生巖太郎	南区麻溝台1-4-1
理事	日本板硝子(株) 相模原事業所	谷口敏	緑区西橋本5-8-1
監事	峡の原工業団地協同組合	河村淑行	緑区橋本台3-4-20
監事	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	佐藤清孝	中央区宮下1-1-57

会 員 名 簿

工場・事業所

令和6年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	アイダエンジニアリング(株)	鈴木 利彦	緑区大山町2-10
2	(株)アクア	中村 朋宏	南区大野台2-26-10
3	井上醤油(株)	井上 久雄	緑区大島1048
4	岩谷瓦斯(株) 相模原プラント	坂井 洋三	南区麻溝台1-10-1 (ニコ内)
5	SWCC (株) 相模原事業所	野口 一朗	中央区南橋本4-1-1
6	尾崎理化(株) 本社	尾崎 勲	緑区根小屋1888
7	(株)オハラ	齋藤 弘和	中央区小山1-15-30
8	オルガノ(株) 開発センター	須田 信良	南区西大沼4-4-1
9	鹿島道路(株) 相模合材製造所	小野塚 英則	南区新戸983
10	(株)金井産業	金井 雅人	中央区田名5977
11	カヤバ(株) 相模工場	井関 俊道	南区麻溝台1-12-1
12	(株)河坂製作所	田坂 智	中央区田名3670
13	関東宇部コンクリート工業(株) 相模原工場	桃澤 岳徳	中央区宮下2-17-1
14	菊屋浦上商事(株)	浦上 裕生	中央区相模原6-26-7
15	(株)ケミックス	田中 勉	南区麻溝台3481
16	興建産業(株) 神奈川工場	永吉 哲郎	中央区田名塩田4-19-21
17	権田金属工業(株)	権田 有紀子	中央区宮下1-1-16
18	サガミ計測(株)	蒔田 建	中央区小町通1-2-4
19	(株)相模原ゴルフクラブ	井上 直樹	南区大野台4-30-1
20	(株)サンコーシヤ 相模テクノセンター	三浦 晴彦	中央区宮下1-1-12
21	三友プラントサービス(株)	小松 源	緑区橋本台1-8-21
22	(株)三菱商事 相模原支社	和田 吉隆	緑区橋本台1-14-13
23	JA 全農ミートフーズ(株) 神奈川工場	太田 寛次	中央区上溝1856
24	(株)シノテスト	塚田 聡	南区大野台5-16-41
25	(株)昭和真空	小俣 邦正	中央区田名3062-10
26	新相模酸素(株) 相模原工場	内城 保	中央区宮下2-14-3
27	ステイ電子機器(株)	志田 正秀	中央区宮下3-13-11
28	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河合 貴之	中央区南橋本3-8-8
29	スリーボンドファインケミカル(株)	土田 耕作	緑区大山町1-1
30	世紀東急工業(株) 相模原再生工場	林 憲一	中央区田名2500-1
31	セントラル総合サービス(株)	井上 善勝	緑区西橋本3-10-30
32	総合銘板工業(株)	田中 桂之介	中央区宮下3-11-14
33	第一コンクリート(株) 相模原工場	高橋 一	中央区南橋本4-2-27
34	大栄フーズ(株)	岡 康人	南区相武台2-5-30
35	タイヨー印刷(株)	長田 功	中央区上溝4-9-10
36	大和製罐(株) 東京工場	松岡 進	緑区西橋本5-5-1
37	大和ハウス工業(株) 南関東支社 神奈川西支店	賤津 高広	中央区中央3-1-15
38	竹内貴金属工業(株)	竹内 忠夫	中央区南橋本3-9-17
39	田辺プラスチック機械(株) 相模原工場	渡邊 勲	南区北里2-30-11
40	津久井湖観光(株)	田原 憲和	緑区三ヶ木492
41	東榮電化工業(株)	山本 茂樹	中央区小町通2-5-9
42	東急建設(株) 技術研究所	井上 諭	中央区田名3062-1
43	東京化学塗料(株)	藤原 賢一	中央区淵野辺1-21-23
44	東京ガス(株) 神奈川西支店	香川 健	南区相模大野5-8-18

会 員 名 簿

工場・事業所

令和6年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
45	東京総合写真(株) 相模原工場	加 藤 光 一	中央区東淵野辺5-4-2
46	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	荒 川 雅 昭	中央区千代田6-12-25
47	東京特殊印刷工業(株)	寺 岡 健 郎	南区大野台2-12-6
48	東京メタルパック(株)	藤 橋 勝 治	中央区南橋本3-2-25
49	東京ライト工業(株) 相模原工場	崎 村 孝 陽	緑区根小屋1787-1
50	東ブレ(株) 相模原事業所	大 崎 正 夫	中央区南橋本3-2-25
51	(株)戸田ゴルフクラブ	門 坂 治 雄	緑区長竹1838
52	(株)トッパンインフォメディア 相模原工場	前 屋 隆 雄	南区大野台2-29-20
53	(株)ニコン 相模原製作所	若 林 孝	南区麻溝台1-10-1
54	(有)西浦塗装工業所	瀬 戸 裕 昭	中央区淵野辺2-18-15
55	日産自動車(株) 相模原部品センター	瓜 生 巖太郎	南区麻溝台1-4-1
56	日鉄ドラム(株) 相模原工場	紅 谷 徹	緑区西橋本5-7-1
57	日本板硝子(株) 相模原事業所	谷 口 敏	緑区西橋本5-8-1
58	日本化工機材(株)	大 澤 浩一郎	中央区淵野辺1-20-8
59	日本ゼトック(株) 相模原事業所	松 田 英 隆	緑区大山町1-5
60	日本電子工業(株) 相模原工場	竹 内 博 次	中央区宮下3-10-14
61	日本トーカーパッケージ(株) 相模原工場	木 岡 郁 治	南区麻溝台1-4-50
62	日本山村硝子(株) 東京工場	浅 見 佳 寿	緑区大山町3-45
63	(有)早川銘板製作所	早 川 正 彦	中央区田名3039-17
64	日立建機日本(株) 西関東支店 相模営業所	新 津 洋	中央区淵野辺2-5-8
65	福田道路(株) 相模原合材工場	風 間 健 二	中央区田名3385-1
66	富士工業(株)	柏 村 浩 介	中央区淵野辺2-1-9
67	プライムデリカ(株)	齊 藤 正 義	南区麻溝台1-7-1
68	ペンニッター(株)	長 内 康 一	中央区南橋本4-5-13
69	(株)宝月堂文具店	佐 藤 幸 一	中央区淵野辺3-19-9
70	マルマテクニカ(株) 相模原事業所	中 村 政 治	南区大野台6-2-1
71	美鈴紙業(株) 東京事業所	長谷川 和 也	緑区橋本台3-1-12
72	三菱重工業(株) 相模原製作所	竹 内 昌 夫	中央区田名3000
73	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	佐 藤 清 孝	中央区宮下1-1-57
74	ミヤジフーズ(株)	宮 地 俊 二	南区古淵5-6-16
75	モリマーマテックス(株)	安 田 寿 之	中央区宮下1-2-27
76	(株)ヤマダコーポレーション	山 田 幸 太 郎	中央区宮下1-2-38
77	(株)ヤマダメタルテック	石 井 正 信	緑区西橋本3-12-9
78	(株)ヤマテコーポレーション	麻 生 敬 三	中央区田名3879
79	(株)ユニックス	平 田 徹	南区麻溝台6-17-6
80	ユニリーバ・ジャパン(株) 相模原工場	村 井 英 匡	南区大野台2-14-1
81	(株)ライト	佐々木 亮 一	中央区中央5-9-10
82	リバー(株) 相模原事業所	竹 崎 賢	緑区西橋本3-10-14
83	ロンザ(株) 相模原事業所	小 林 亨	中央区南橋本4-3-36

会 員 名 簿

公共事業所等

令和6年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	(学)青山学院大学	田 口 知 博	中央区淵野辺5-10-1
2	(学)麻布獣医学園	山 口 雄 弘	中央区淵野辺1-17-71
3	(学)和泉短期大学	須 田 拓	中央区青葉2-2-1
4	神奈川県水産技術センター内水面試験場	原 日出夫	緑区大島3657
5	(一財)北里環境科学センター	山 田 陽 城	南区北里1-15-1
6	(学)北里研究所	小 林 弘 祐	南区北里1-15-1
7	相模原機械金属工業団地協同組合	阿 部 仁	緑区橋本台2-7-28
8	相模原市農業協同組合 本店	小 泉 幸 隆	中央区千代田1-2-17
9	(学)女子美術大学	福 下 雄 二	南区麻溝台1900
10	(一財)生物科学安全研究所	山 本 実	緑区橋本台3-7-11
11	峡の原工業団地協同組合	河 村 淑 行	緑区橋本台3-4-20

賛助会員

令和6年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	NPO法人 かながわ環境カウンセラー協議会 相模原支部	古 屋 伸 夫	南区東林間1-25-10-210
2	相模原市ゼロカーボン推進課	市 橋 剛 輝	中央区中央2-11-15
3	相模原市自治会連合会	竹 田 幹 夫	中央区富士見6-6-23
4	相模原市地域婦人団体連絡協議会	石 川 壽々子	中央区陽光台2-12-10
5	さがみはら地球温暖化対策協議会	竹 田 幹 夫	中央区富士見1-3-41

相模原の環境をよくする会会則

(名 称)

第1条 本会は、相模原の環境をよくする会と称し、事務局を相模原市役所内に置く。

(目 的)

第2条 本会は、公害を未然に防止し、豊かな自然を守り、うるおいのある生活環境づくりに努め、もって快適な環境の創造に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 公害防止技術の調査研究
- (2) 環境保全に係る調査研究
- (3) 研修会、講演会、視察等の実施
- (4) 環境の保全に係る啓発活動
- (5) 関係行政機関との連携及び協力
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会 員)

第4条 本会は、相模原市内にある工場、事業場等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものをもって組織する。

2 会員は、別表の定めるところにより、会費を負担するものとする。

(賛助会員)

第5条 市内にある環境保全団体並びに市民団体等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものを賛助会員とすることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員を選出)

第7条 本会の会長、副会長、理事及び監事は、総会で会員の中から選出する。

2 役員の前任期満了前における欠員補充は、会員が役員会の同意を得て、会員の中から選任する。

(役員の仕事)

第8条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長不在のときは、これを代行する。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、会計を監査する。

(役員の前任期)

第9条 役員の前任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補充により就任した役員の前任期は、前任者の前任期間とする。

3 役員は、前任期が満了したときにおいても、後任者が就任するまで引き続きその職を行うものとする。

(事務局職員)

第10条 本会の事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1 名
- (2) 次 長 1 名
- (3) 書 記 若干名

2 事務局職員は、会長が委嘱する。

3 事務局長は、会の庶務を統括する。

4 次長は、事務局長を補佐し、事務局長不在のときは、その職務を代行する。

5 書記は、会の庶務を処理する。

(名誉会長及び顧問)

第11条 本会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(会 議)

第12条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

(総 会)

第13条 総会は、会員及び賛助会員をもって構成する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長がこれを招集する。

3 通常総会は毎年1回、臨時総会は会長が必要と認めるとき又は会員及び賛助会員の3分の1以上から請求があったとき、これを開くものとする。

4 総会の議長は、そのつど選出する。

5 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 役員を選出にすること
- (2) 事業計画及び事業報告にすること
- (3) 予算及び決算にすること
- (4) 会則の改廃にすること
- (5) その他会長が必要と認める事項

(役員会)

第14条 役員会は、会長、副会長、理事及び監事をもって構成し、会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長をもってこれにあてる。

3 役員会は、この会則の別の条項に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会で議決した事項の執行にすること
- (2) 総会に提案すべき事項にすること
- (3) 予算の補正にすること
- (4) 総会で委任された事項にすること
- (5) その他役員会において必要と認める事項

(会議の議決)

第15条 総会及び役員会は、構成員の2分の1以上の出席（委任状を含む。）がなければ議事を開き、議決することができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(経費)

第16条 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。

- (1) 会費
- (2) 負担金
- (3) 補助金
- (4) その他の収入

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(委任)

第18条 この会則の施行について必要な事項は、会長が役員会の議決を経て別に定める。

附則

この会則は、昭和60年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成19年4月20日から施行する。

別 表

会費算定基準（第4条関係）

1 工場、事業場にあつては、次の表に定める資本金額及び従業員数により算出した合計点数に2,500円を乗じた額とする。

点 数 区 分	1	2	3	4	5	6	7	8
資 本 金 額	5千万 円未満	5千万 円以上 1億円 未満	1億円 以上 3億円 未満	3億円 以上 5億円 未満	5億円 以上 10億円 未満	10億円 以上 50億円 未満	50億円 以上 100億円 未満	100億 円以上
従 業 員 数 (人)	10 未満	10 以上 50 未満	50 以上 100 未満	100 以上 500 未満	500 以上 1,000 未満	1,000 以上 1,500 未満	1,500 以上 2,000 未満	2,000 以上

2 公共事業所（相模原市役所を除く。）その他これに類する事業場
一律10,000円を会費とする。

3 相模原市役所は200,000円を会費とする。

相模原の環境をよくする会細則

(入 会)

第1条 本会に入会しようとするものは、所定の入会申込書により申し込むものとする。

(退 会)

第2条 会員が退会しようとするときは、理由を付して届け出るものとする。

(変 更)

第3条 入会申込書に記載した事項のうち会長が必要と認める事項に変更があったときは、会員は、速やかに所定の変更届により届け出るものとする。

(会 費)

第4条 会費は年額とし、毎年5月1日から6月30日までに納入しなければならない。ただし、年度途中においての加入会員は、加入時期に応じ、月割りにより算出し、入会と同時に納入するものとする。

2 前項ただし書の規定により算出した額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

3 既納の会費は、これを返還しない。

(負担金)

第5条 規定会費の他に特定の事業を行う場合、会長は、役員会の同意を得て、会員に対し負担金を請求することができる。

(名誉会長及び顧問)

第6条 名誉会長及び顧問は、会長が、役員会の同意を得て、委嘱するものとする。

2 名誉会長及び顧問の任期は、委嘱された日から、その日の属する年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

(会 計)

第7条 本会の会計のうち、予算執行上の処理については、次のとおりとする。

(1) 予算の執行は、事務局長が行う。

(2) 補正は次のとおりとし、役員会の決定を得て行うものとする。

ア 項及び目の設定又は廃止

イ 予算総額の10パーセント以上の支出を伴う予算額の変更

ウ 項間の予算額の移動で、当初計上した予算額の20パーセント以上を他の項に移動する場合

(3) 流用は次のとおりとし、事務局長の裁量で行うものとする。

ア 項間の予算額の移動で、補正に該当しない場合

イ 目間の予算額の移動

(4) 充当は、予備費を他の項及び目に使用する場合であり、事務局長の裁量で行うものとする。

(報 酬)

第8条 本会の役員及び事務局職員は、無報酬とする。

(文書管理)

第9条 本会の文書の保存期間は、別表のとおりとする。

2 保存期間が過ぎた文書は、速やかに廃棄するものとする。ただし、特に必要と認められる文書については、会長が役員会の同意を得て、保存期間を過ぎた後も保管することができる。

3 前項の規定により文書を廃棄するときは、役員会の決定を得なければならない。

4 個人情報が含まれる文書を廃棄するときは、廃棄後に情報が読み取れないように配慮しなければならない。

附 則

この細則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成19年4月20日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成29年11月7日から施行する。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

別表（第9条関係）

文書の区分	保存期間
会則、細則及び規定 入会申込書 退会届 変更届 会員名簿 総会議事録（議案書を含む。） 役員会議事録 委託契約書類 会報（創刊号から）	常用
収入伺 支出命令書 銀行預金通帳	10年
総会及び役員会関係書類（他の区分に属するものを除く。） 事業関係書類（他の区分に属するものを除く。）	5年
その他軽易な文書	1年

備考 保存期間は、文書を作成し、又は取得した事業年度（契約期間のある契約書等一定期間効力を有する文書については、その期間の満了した事業年度）の次の事業年度の初日から計算するものとする。

表彰に関する規定

(趣 旨)

- 1 相模原の環境をよくする会（以下「本会」という。）の事業を通じて環境の保全・浄化に功労のあったものを表彰することに関して必要な事項を定める。

(表彰状及び感謝状の贈呈)

- 2 功労者には、次により表彰状又は感謝状を贈呈する。
 - (1) 環境の保全・浄化に功労のあった個人及び団体
 - (2) 本会の役員として10年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった役員会社
 - (3) 本会の役員として5年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった個人

(被表彰者の決定)

- 3 会長は、表彰状及び感謝状を贈呈しようとするときは、あらかじめ役員会の同意を得なければならない。

附 則

- 1 この規定は、昭和60年4月1日から適用する。
- 2 相模原の河川をきれいにする会及び相模原の青空を守る会の役員在職年数は、本会の役員在職年数とみなす。

附 則

この規定は、平成7年4月1日から適用する。

入会申込書

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地

名 称

代表者職氏名

貴会の目的及び会則に賛同して、下記により入会を申し込みます。

工場又は事業所名	
所 在 地	
資 本 金	
従 業 員 数	
担 当 者 氏 名	
担 当 者 所 属	
電 話 番 号	
Eメールアドレス	

※従業員数は、相模原市における工場又は事業所の人数をご記入ください。

変 更 届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地 _____

名 称 _____

代表者職氏名 _____

電話番号 () _____

下記のとおり届け出ます。

【事業所関係】

	新	旧
名 称		
所 在 地		
電話番号		
E-mail		

【役員関係】

		所 属	役 職	氏 名	備 考
代表者	旧				
	新				
担当者	旧				
	新				

変更日 _____ 年 月 日 _____

(変更理由)

澄んだ水 あふれる緑 青い空 みんなで築こう相模原

(スローガン)

令和 6 年 4 月

相模原の環境をよくする会

事務局(相模原市 環境経済局 ゼロカーボン推進課)

TEL 042(769)8240

FAX 042(769)4445

印刷 タイヨー印刷(株) TEL 042(762)2157



澄んだ水あふれる緑青い空
みんなで築こう相模原